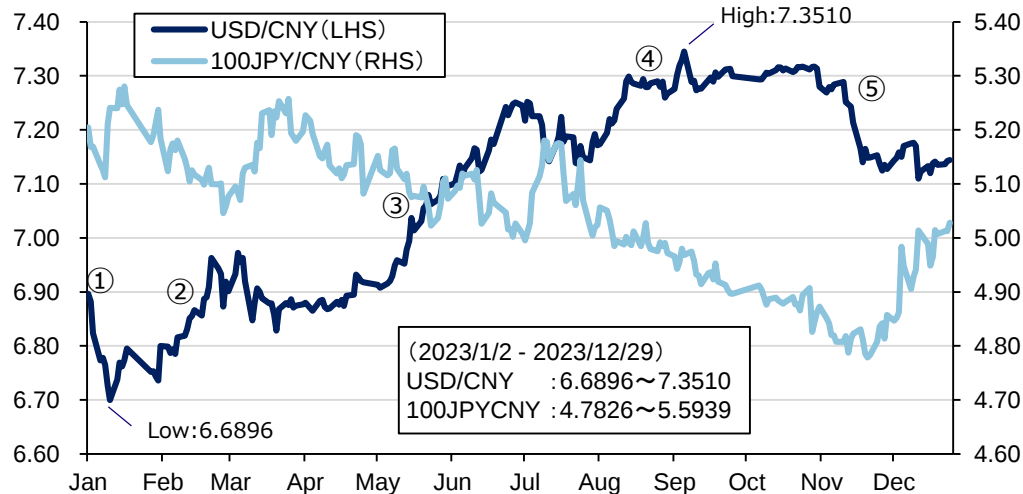


人民元週間レポート・新春特別号 ～1枚で分かる今年・来年の人民元～

2023年 人民元相場振り返り ～ 米国利上げ、中国経済足踏みでドル高元安地合い ～



USD/CNYの主な値動き

- ① 1月: コロナ防疫措置の緩和が相次ぎ、経済活動再開期待の高まりに元高進行
- ② 2～4月: 米経済指標が堅調となったことでインフレ長期化とFEDのタカ派懸念により6.9台へドル高が進行。3月、米地銀破綻報道を受けて6.8台へ収束
- ③ 5～7月: 予想を下回る中国経済指標が相次ぎ、預金準備率やMLFの引き下げを実施。中米金融政策の方向性の違いも意識され6.9台から7.2台へ上昇
- ④ 8～10月: 実勢レート対比元高でのPBOC基準値の設定が続き、USDCNYは7.2～7.3台の値幅上限付近で推移
- ⑤ 11月～: 米経済指標の軟調な結果を受けて米追加利上げ観測が後退、ドル売りが加速し7.1台へ下落

2024年 人民元相場見通し ～ メインシナリオ: 緩やかなドル安元高へ回帰 1ドル=7元割れへ ～

	2024				2025
	Jan - Mar	Apr - Jun	Jul - Sep	Oct - Dec	Jan - Mar
USD/CNY	6.90 ~ 7.20 (7.05)	6.85 ~ 7.15 (7.00)	6.85 ~ 7.15 (7.00)	6.80 ~ 7.10 (6.95)	6.75 ~ 7.05 (6.90)

()内は各四半期の
終値予想値

「穏健な金融政策」の継続と米利上げのピークアウト: 12月の中央経済工作会议では、基本方針のひとつである「稳中求進」(安定の中で前進を求める)を基盤に「穏健な金融政策」継続スタンスが示された。為替レートについても「合理的水準での安定」を掲げる中、PBOCが景気下支えの手段として利下げに大きく頼る展開は想定しづらい。MLF(中期貸出制度)やPSL(担保付き補完貸出)等を通じた流動性供給により、人民元に対するインパクトを抑えつつ財政・金融政策を遂行していくと予想。米国の利上げ局面がピークアウトを迎え、中米金利差の縮小が想定される中、USD/CNYのフォワードポイントも底打ちを示し始めている。

ファンダメンタルズ要因による元安は限定的: 内外需の回復懸念や不動産セクターに対するリスク等が燦る中、引き続き「的を絞った」政策支援が想定される。証券投資にみる流出フローは次第に収まりを見せているものの、景気の先行きに対する不透明感が人民元安圧力として残存する可能性は相応にある。他方、一方的な元安の動きに対してはカウンターシニカルな調整による安定が図られる公算も大きく、過度な人民元安進行はメインシナリオではないと予想。

その他のリスク: 2024年は露大統領選(3月)、米大統領選(11月)等の重要イベントを控える。特に米大統領選については、3月の予備選挙・党員集会(Super Tuesday)を経て、不確実性の高まりを受けたボラティリティ上昇には留意しておきたい。

本年もご愛顧を賜り誠にありがとうございました。辰年の来年、巷の相場格言は「辰巳天井」だそうです。辰に因んだ故事ことわざに「龍に翼を得たる如し」とあります。来年は皆さまにとっての「翼」になりますよう、相場が上げの時も下げの時も分かり易くご説明し全力でサポートいたします。来年も引き続きよろしくお願い申し上げます。



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行(中国)に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

本資料に関するご照会先: みずほ銀行(中国)有限公司
中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel: 86-21-3855-8888 Ex: 1320 ~ 1329 & 1371 ~ 1378)